

音楽 I ワークシート	《この道》を歌おう		教科書 『MOUSA 1』	P.35 《この道》 P.36 《この道》徹底調査! P.39 日本語の歌詞の歌い方 P.98 日本音楽の流れ P.153 西洋音楽の用語と記号
	氏名			評価

① 《この道》(教 P.35) の詩を朗読し演奏を聴いて、次の問いに答えよう。

1) 《この道》の詩を完成させよう。[主]

この ( ) はいつか来た ( )、 ああ、そうだよ、			
( ) の花が咲いてる。	( ) の花が咲いてる。	( ) の花が咲いてる。	( ) の花が咲いてる。
あ ( ) の ( ) はいつか来た ( )、 ああ、そうだよ、	あ ( ) の ( ) はいつか来た ( )、 ああ、そうだよ、	あ ( ) の ( ) はいつか来た ( )、 ああ、そうだよ、	あ ( ) の ( ) はいつか来た ( )、 ああ、そうだよ、
お母さまと ( ) で行ったよ。			
ほら、白い ( ) だよ。			
( ) の枝も垂れてる。	( ) の枝も垂れてる。	( ) の枝も垂れてる。	( ) の枝も垂れてる。

2) 詩を読み、想像した情景や感じ取ったこと、詩の形式などについて気付いたことを書こう。[知/思・判・表]

3) 演奏を聴き、その印象や気付いたこと、感じ取ったことなどを書こう。[思・判・表]

② 《この道》(教 P.35) について、次の問いに答えよう。

1) 《この道》について、次の文章を完成させよう。(教 P.35、P.98 参照) [知]

《この道》の詩は、( ) によるもので、夏に旅した北海道の情景と、幼い頃の記憶を重ねて書かれたといわれている。作曲したのは ( ) で、彼は東京音楽学校で教育を受け、( ) の手法を用いて芸術的な音楽作品をつくった。

2) 楽譜に示されている記号の名称と意味を確認しよう。(教 P.153 参照) [知]

記号	名称	意味	記号	名称	意味
<i>p</i>					
			<i>mf</i>		
			<i>pp</i>		

③ 「日本語の歌詞の歌い方」(教 P.39) を読み、次の文章を完成させよう。[知]

日本語の歌を歌うときには、( ) を意識して明瞭に発音することが大切だが、そのことを意識するあまり、逆に ( ) を強調しすぎたり、硬い発音になったりしないよう気を付ける。なるべく自然な ( ) を意識しながら、言葉の ( ) に気を配って歌う。

日本語の歌詞を美しく歌う発音するためには、「ガ行」の ( ) と ( ) を区別して歌うことが大切である。語頭や数字、強調するときは ( ) 、それ以外は ( ) になる。例えば、《この道》の詩の「花が咲いてる」の「が」は ( ) である。

④ 《この道》(教 P.35) を歌おう。

- 1) 演奏を聴いたり歌ったりしながら、言葉の抑揚と旋律との関わりなど歌詞や音楽から気付いたことや感じ取ったことを下の表に書こう。[思・判・表/主]
- 2) 1) で書いたことを手がかりに、どのように歌いたいかを話し合ったり歌い試したりしながら考え、下の表に書こう。  
[思・判・表/主]

歌詞や音楽から気付いたことや感じ取ったこと	どのように歌いたいか (表現の工夫)
例：前奏の同音連打の部分は静かに歩いているような感じがする。	例：前奏の連打音を引き継ぐように静かに歌い始めたい。

3) 話し合ったことや考えたことをもとに、表現を工夫して歌おう。[技/思・判・表/主]

4) 歌って感じたことや考えたこと、他の人の演奏を聴いてよいと思ったところなどを書こう。[思・判・表/主]